

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回加東市障害者支援地域協議会
開催日時	令和5年6月19日(月) 13時30分～15時30分
開催場所	加東市役所 302会議室
<p>【出席及び欠席委員の氏名】</p> <p>〈出席委員〉11人  石倉健二、森下智行、楯本俊也、神納伸午、竹内司、石原敬三、渡邊尚樹、大西ひとみ、百田雅樹、小林茂、丸山正人</p> <p>〈欠席委員〉1人  安田末子</p>	
<p>【出席した事務局職員の氏名及びその職名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部社会福祉課 課長 北島 崇裕</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 副課長 篠田 玲子</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 主査 野津 智哉</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 主査 大木 千尋</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 主査 伊藤 充紀</li> <li>・加東市障害者相談支援センター 所長 原 尚浩</li> </ul>	
<p>【議題、会議の経過及び資料名】</p> <p>1 議事</p> <p>(1) アンケート結果から見える加東市の課題</p> <p>(2) 加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る進捗状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>2 会議の経過</p> <p>別紙「令和5年度 加東市障害者支援地域協議会(第1回)会議経過」のとおり</p> <p>3 会議資料名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者(児)福祉を取り巻く課題</li> <li>・加東市障害者計画等に関するアンケート調査報告書</li> <li>・加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る進捗状況</li> <li>・2022年度 加東市障害者支援地域協議会 事業所連絡会 事業報告</li> <li>・令和4年度 加東市障害者支援地域協議会 発達支援連絡会の報告</li> </ul>	

発言者	会議の経過/発言内容
委員長	<p>1 開会 2 あいさつ 3 議事</p> <p>[議事内容] (委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔1〕インクルーシブ教育の推進」について説明)</p>
委員	<p>現場の先生方の思いとして、通常の学級の中に配慮や支援の必要な子がどんどん増えてきています。昨年の12月に文科省が発表した、小中学校で8.7%というような数字が言われているが、通常の40人学級の中だったら、3人ないし4人が、発達障害ないしは、その周辺の子どもたちがいて、支援や配慮が必要です。その子に対して、担任の先生を中心にいろいろやられているのだけれども、それだけでは人が足りないので、増員の要望が非常に強いと思っています。教育委員会としては、スクールアシスタントを各学校に配置をしているが、学年に1名、4年生までの配置になっているのが現状です。それだけでは、支援をしたいけれども、なかなか手が回らないということで、増員の要望が非常に強いと思っています。</p> <p>配置については、予算に関わることで、全学年にということになると、予算的に厳しいこともあり、学校の規模、学級の人数なども検討しながら配置をされていて、教育委員会としても、精一杯やっているところです。</p>
委員長	<p>これに対して、どう教育委員会が対応するかというよりは、(4)のインクルーシブ教育の推進に関する課題の②のところでの、学校内での支援・配慮の充実が求められているということも、この必要性が高いということをお説明いただいたと思います。</p> <p>課題としてどういうことがあるかということをお示ししておくことは重要だと思うので、スクールアシスタントや介助員の配置という言葉で書いてしまったほうがよろしいですか。</p> <p>この特別支援学級・適応指導教室・通級指導教室の充実を含むと書いてありますが、適応指導教室もここに入れて、内容的には大丈夫でしょうか。</p>
委員	<p>適応指導教室については、今まで社の武道館だけで開設をしていたのが、今年度から滝野と東条にも開設をされて利用しやすいようにはなっています。場所を作ったから、いいというものではないのですが、充実ということをおうと、あとは中身のことだと思っておりますので、入れておいてもいいかと思っております。</p>
委員	<p>障害児の自由記述の中で、加東市に障害児専門のいわゆる養護学校がないとありました。現場は大変だと思っております。担当者を増員してもらいたいとか、当然そうなると思います。それも踏まえて、ここの課題のところに、長・中期的な目</p>

	<p>標になるかも分かりませんが、「住みやすいまち加東」を考えたときには、特別支援学校というのは必要なだろうと思うのです。そういうのは目標として挙げておくほうが、遠方への通学の負担軽減にもつながると思うのですけれども。</p>
委員長	<p>非常に重要なものだと、私も思います。特別支援学校の設置を含む通学負担の軽減と書いてしまってもいいのか。</p> <p>学校として建物を建てずに、空き教室を使って学校を設置するというやり方も広がってきていますので、いろんな設置の仕方の形態もあるかと思えますけれど。</p>
委員	<p>通学負担軽減にいろんな選択肢が入る形で。</p>
委員長	<p>いろんな選択肢が入るということですよ。</p>
委員	<p>場当たりのなものになってしまう可能性もありますので、長期的に見たら、学校のほうがいいという意見も出てくるかも知れません。</p>
委員長	<p>特別支援学校という名称は挙げてしまったほうが、それも1つの手だと、私も思うのですけど。</p>
委員	<p>近隣の市町が、市立の特別支援学校を持っているということで、実際、北はりま特別支援学校がセンター校としてあるのですけれども、非常に遠い。</p> <p>小中一貫教育で確かに学校の建物は空いてくるので、それを利用してということは検討してはどうかと思いますので、中長期的な見通しとして、文言としては入れておいたら。</p>
委員長	<p>特別支援学校のことも含めて、この中に通学への負担軽減ということも課題として挙げておくということで、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔2〕雇用・就労支援」について説明)</p>
委員	<p>アンケートの自由記述のところ、ハローワークへの敷居が高いような記述があったと思います。</p> <p>そこで、直接出向き難いのであれば、そこに市役所窓口として、そういうシステムについての検討みたいなことを入れるといいかと思えます。</p>
委員長	<p>ハローワークだけではないのですが、就労の相談窓口の利用しやすい支援について、利用のしやすい相談窓口の整備といったことも、適切な御意見だと思います。</p>
委員	<p>行政も含めてということ考えていただければ。意外と自由記述のアンケートのところでは、市役所に抵抗がないのだという意見もあったと思うのですけど。</p>

委員長	相談窓口の意見を付け加えたいと思います。
委員	<p>現在、一般企業の障害者の法定雇用率が2.3%ですが、来年令和6年4月から2.5%に上ります。このことによって、40名従業員がおられる会社は、最低1人雇用しなければいけないということになります。40人増えるごとに1人ずつ障害者雇用が増えていくということになります。</p> <p>それから、短時間雇用というの、来年4月から始まりまして、現在、障害者雇用としてカウントできるのが、1週間に20時間以上働いてる方が、障害者雇用としてカウントされていたが、来年4月からは10時間以上20時間未満の方もカウントの対象になるということで、障害者雇用率の算定の対象になってきます。雇用率が上がるというところで、問い合わせが結構入ってきています。企業の取り組み方というの、より積極的に障害者雇用を進めていこうという動きが加速されるのではないかと考えています。</p> <p>病院に行くための時間が自由に取れないというところに関しては、障害者雇用促進法上の合理的配慮の範囲の中に入ってくるので、合理的配慮を企業のほうに求めていくという形での対応ができると思っています。</p>
委員長	(委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔3〕保健・医療の充実」について説明)
委員	<p>地域移行ということで、家族と本人が同意して、地域に移った際に、再入院ということがありうるので、そのときに、不安を感じるという声を聞いたことがあります。つまり、一旦出てしまったら、もう1回再入院というのは、非常にまた手続きがややこしかったり、あるいは空きがなかったりとか、だからもうこのままでいいという思いにつながっているのではないかと。その辺の体制を整備充実させる部分も、必要ではないかと感じます。</p>
委員	課題の5番は、どこの質問から導き出されたものですか。
委員長	<p>障害者アンケートの問29のところで、在宅での生活や介助のしやすいよう、保健・医療福祉サービスの充実というのが、全体で17.8%。この報告書では、特段色はつけてないのですが、4番目の多さであったというところから、これを書いています。</p>
委員	この5番は、抽象的というか、広い範囲の感想というのが気になりました。
委員長	ここだけは1つの項目からだけ導いているので、自由記述とかを参考にしながら、少し文章を入れてもいいかと思っています。

副委員長	<p>最近の精神病院は、あまり入院しないで、外来で薬を投与したりするようなのが多いので、入退院を繰り返すのではないかと思います。</p>
委員長	<p>現に入院をされている方を地域に移行していく事は、全国的に重要な問題となっています。</p> <p>(委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔4〕福祉サービスの充実」について説明)</p>
委員	<p>短期入所の施設が、加東市内には少ないということで、利用できる日数が限られており、遠方の施設を利用せざるを得ない。短期入所の施設ができれば利用したいという方は多いと思う。</p>
委員長	<p>短期入所の施設も課題として挙がり続けている内容ですが、加東市だけに限らず、重要な課題だと思います。</p>
委員	<p>加東市内に限らず、北播磨5市1町の中で、就労移行支援施設が、加西市に1か所しかありません。就労移行支援を通しての一般就労というのが、今はできない状況になってきていますので、就労継続支援B型の事業所から一般就労を目指すような流れを作れたらというようなところで、就労継続支援B型事業所との話し合いを始めているところです。</p> <p>学校卒業後の進路に関する相談について、高等部の3年生は、一般就労を希望される方については、ハローワークと障害者就業・生活支援センターと一緒に、進路説明会を学校でやっています。福祉就労を目指される方につきましては、行政が学校と一緒に連携して、そういう話し合いの場を持っていると聞いたことがあるので、そういう形での対応もしているのではないかと思います。</p>
委員長	<p>働く場の整備の中で、ハローワークとか、障害者就業・生活支援センターの中で動きがあるということで、そうした機関の活用ということを書き込みたいと思います。</p>
委員	<p>ハローワークでは障害の方の専用の窓口というがあるので、電話だけでも入れていただいたら、対応はしっかりしてくれますので、周知していただけたらいいかと思います。</p>
委員長	<p>情報提供だとか、そういう窓口の活用、機関の活用ということ、働く場の整備のところに、少し付け加えていきたいと思います。</p>
委員	<p>居場所づくりというキーワードを効果的に入れていただくほうがいいかと思うのです。働く場だけが居場所ではないと思うのです。働けない人もいますので、そういう場合は、結局在宅において、いろんなサービスを受けられる居場所、あるいは</p>

<p>委員長</p>	<p>放課後にどこかで過ごせる居場所というようなものを、アンケートでは求めていると受け止められると思いますので、この共通したところで居場所づくりという言葉を上げていただけるといいかと思います。</p> <p>居場所というところは重要なことになってくると思いますので、盛り込みたいと思います。</p> <p>(委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔5〕福祉のまちづくり」について説明)</p>
<p>委員</p>	<p>避難所については、高齢者なども含めて、非常に課題があると思いますので、対応は必要だと思います。</p> <p>今までずっと医療・福祉・まちづくり、それから介護というのは、結局最終的には、同じような課題というものが挙がっているのですか。</p> <p>それと、対応策とか将来計画をまとめていくに当たって、共通の面をどううまく整理していくかみたいなことが必要なのかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>災害時ということを考えると、移動手段というところは、非常に大きな方面かと思えます。社協のほうでも、移送サービスであるとか、福祉有償運送事業というものもやっていますが、対象者が限られていたり、運営する運転手確保の問題であるとか、利用される方の側については、介助者を確保してくださいというような制限もあるので、なかなかこれにぴったり当てはまるものではない、非常に重要な項目だとは思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>私もケーブルテレビなどで災害情報などを目にするのですが、視覚障害者の場合は耳で聞こえるので、音から入ってくる。聴覚障害者の場合は、普段の番組でしたら、手話付きのものもありますが、緊急の場合の放送は、手話付きとすることはできないのでしょうか。</p> <p>字幕は一つの有効な手段で、ケーブルテレビが見られる人はいいのですけれども、契約してないと見られませんが、防災無線だけに頼るとなると難しいと感じました。</p>
<p>事務局</p>	<p>防災メールとか、メール配信もありますので。</p>
<p>委員長</p>	<p>ケーブルテレビであったり、メールの配信だったりとか、恐らく複数の対応をしなければならぬので、その辺の情報保障に関してのところというのは、大事な課題になってくると思います。</p> <p>(委員長より「障害者(児)福祉を取り巻く課題〔6〕人権のまちづくり」について説明)</p>

委員	<p>成年後見制度に関して、弁護士費用が高いというのがあって、どうやったらこの成年後見制度がうまく利用できるのかという情報を、周知させる体制みたいなものが必要なのかと思います。</p>
委員長	<p>成年後見制度に関して、弁護士だけということもないのですが、実際の利用の仕方についての周知ということも付け加えていきたいと思います。</p>
委員	<p>加東市は、人権の推進が県下で2番目に早かったという結果はあるのですが、それに伴う実践がなかなかできてないという事実はあると思います。</p> <p>推進はしても、後の動きは何もないということでは、推進した意味もないですので、その辺の現実とそれと障害者をどういう枠組みの中に入れていくかという関係性も、考えていかなければならないのではないかと思います。</p>
委員	<p>東条の人と話をしていたら、「私普段からあまりが動かれへんし、市役所へタクシー券をもらいに行こうと思ってタクシーを使って行ったらね、1万5,000円の券をもらうのに、タクシー代が1万2,000円いるんです」という話をされてました。それだったら、民生委員とか、地域の人をお願いをして、取りに行ってもらえるような体制もありますと話はしたのですが、行政のほうも、東条地域、滝野地域の行政サービスの意味においても、月に1回出張サービスをするとか、障害者の方のその不便さというようなものを理解する必要があると思います。</p>
委員長	<p>取り巻く課題に関して、文言の細かいところは、委員長と事務局のほうに御一任いただければと思います。</p> <p>議題中のアンケート結果から見える加東市の課題、以上で終わりにさせていただきます。</p> <p>2番、加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る進捗状況について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局より「加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る進捗状況」について説明)</p>
委員長	<p>令和3年度はコロナの影響によって使えなかったものが、5年度はさらに増えてくるということになるのでしょうか。</p> <p>では、議題の3番目その他になります。各連絡会からの事業報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局より「2022年度 加東市障害者支援地域協議会 事業所連絡会 事業報告」について説明)</p>

<p>委員長</p>	<p>事業所連絡会についての御報告がありました。何か御質問はありますでしょうか。</p> <p>先ほど課題にも挙がっていましたが、いろんな啓発事業であるとか、福祉マップとか、そういうところが取り組まれているようですので、ぜひ引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>では、続きまして発達支援連絡会について、事務局である発達サポートセンターからお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>(委員より「令和4年度 加東市障害者支援地域協議会 発達支援連絡会の報告」について説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>発達支援連絡会につきまして、何か御質問、御確認ありますでしょうか。</p> <p>先ほど課題に挙がっていました、関係機関の情報交換とか、連携とか、その辺りのことを推進していただいています。また何か体制の見直しということも求められてきているようで、連絡会としてやっていく事をはっきりさせて障害者支援地域協議会に提案してもらうことで、より良い方向に動いていくことを期待したいと思います。</p> <p>では、予定していました議事が終了となりましたが、全体を通して何か御意見、御質問などありますでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>4 事務連絡 5 閉会</p>

令和5年 7 月 20 日

署名人 石倉健二